

内視鏡手術ロボ 解説などを追加

製鉄記念室蘭病院 診療ガイドブック刷新



製鉄記念室蘭病院の「診療ガイドブック2019」。本年度の診療態勢や診療情報などをまとめた

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)は「診療ガイドブック2019」を制作した。診療態勢や診療情報について、本年度の状況に合わせて「2

018年度版」を刷新。昨年9月に導入した内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」の解説も追加するなど、「地域のみなさまに、より安心して受診していただくために」をテーマにまとめた。

同病院では、医師の専門性や各診療科の診療内容・検査実績・治療成績などを地域住民に知ってもらうため、2017年(平成29年)から「診療ガイドブック」を発刊。

以降、日進月歩の診断・治療に対応するため、毎年、内容を刷新し、最新の情勢に対応したガイドブックを発行している。

「診療ガイドブック2019」は、今年3月から前立腺を皮切りに、肺、大腸、腎臓の各がんの手術で用いられている「ダヴィンチ」の特長などを紹介。

このほか、①循環器内科のページでは、最新鋭の機器が導入された「血管造影装置」②消化器内科のページでは、胆のうや膵臓の早期診断や内視鏡治療をまとめた「消化器内科胆膵チーム内視鏡治療」③看護部のページでは、人工肛門や人工ぼうこうで生活する人を支える「ストーマ外来」なども紹介している。

A4判全61ページ。5000部作製し、来院者らにも配布している。前田病院長は「診療ガイドブックが、地域の医療の羅針盤として、安心感・信頼感を持って診療を受けていただけるよう、お役に立ててもらえれば」と話している。

問い合わせなどは、製鉄記念室蘭病院、電話0143・44局4650番へ。(松岡秀宜)